



奨 励 賞



①クリーンセンターの前に広がるたちむにいひろば ②敷地境界を緩やかに区切る築山群 ③賑わいが生まれる既存樹木の木陰 ④ワークショップ意見を反映した個性豊かな築山
⑤自然素材を活かした施設整備

立川市クリーンセンターたちむにいひろば

パシフィックコンサルタンツ株式会社

渡邊翔太・小野崎研郎・平本 圭・近藤 真（当時）

たちむにいひろばは立川市新清掃工場（クリーンセンター）の緩衝緑地である。計画段階から掲げられた「市民に開かれ、誰もが自由に利用できる緩衝緑地」となるよう公園のようなオープンスペースとして計画・設計した。

本ひろばの特徴は個性的な築山群である。築山は遊びや眺望、コンポストなど多様な機能を持ち、植栽や周辺景観と調和する配置とした。また緩やかな侵入抑制機能を持ち、周辺との一体性や解放感と夜間閉鎖の管理性を両立した。植栽は郷土種や暮らしと密接な有用木を選定し、樹名板には人の営みや地域との関わりに関する内容を記載することで環境教育の機能も取り入れた。さらに芝側溝やレインガーデン等のグリーンインフラを積極的に導入し、循環型社会の仕組みを広場内に体现した。

作品概要

作品名—— 立川市クリーンセンターたちむにいひろば
所在地—— 東京都立川市泉町2,002番地、昭島市もくせいの杜2丁目3番地
発注—— 東京都立川市
設計—— パシフィックコンサルタンツ株式会社
監理—— 東京都立川市、パシフィックコンサルタンツ株式会社
施工—— 吉川建設株式会社 東京支店
設計期間—— 令和2年10月～令和5年2月
施工期間—— 令和5年11月～令和6年8月
規模—— 約1.2ha
主要施設—— 芝生広場（約4000m²）、舗装広場（約2000m²）、
外周部の多機能な築山、グリーンインフラ（芝側溝・レインガーデン等）、
インフラ供給施設（クリーンセンターからの再生エネルギー供給設備）

作品評

本作品は、一般的には閉ざされることが多い清掃工場の緩衝帯を、市民が自由に使える広場空間として開放したもので、行政も含めて「新たな一歩」として評価したい。敷地中央の芝生広場を囲むように配置された連続した築山が大きな特徴となっている。この築山は、クリーンセンター本体工事で発生した残土を活用したもので、周囲からの侵入抑制という機能も緩やかに担っている。その他にも様々な手法を用いた雨水流出抑制や、既存木の保護・活用と郷土種の導入、循環型エネルギーの再利用、維持管理費の低減を目指した設計提案など、グリーンインフラの視点が十分導入・活用されていることも、今日の視点と見え評価された。ただし、連続する築山に様々な機能や景観の特徴を持たせた点は大いに評価されたものの、選考委員会では同一形状で大小が違う築山を並べた手法について意見が集まり、ランドスケープ的な自由な表現への期待から奨励賞となった。